

広がりと深まりと

～多様な他者との接点の中で自分を確認し、自分の成長を求める～

自分の確認

- 自分の好きなこと・得意なことがわかる
- 自分らしさや、友だちらしさを理解する

友だちへの広がり

- 自分の力に自信を持ち、できることを増やす
- 自分の持ち味や役割を自覚する
- 友だちと協力する中で関わりを深める

社会への広がり

- 自分の役割や責任を果たし、集団の中で役立つ喜びを体得する
- 社会と自己の関わりから自分の夢や希望をふくらませる
- 他者を尊重し、自分のできることを考え実行する

社会の中で深く見つめる

- 社会を客観的にとらえ、その一員としての義務と責任を理解する
- 肯定的自己理解を獲得し、将来設計に向けて前向きにチャレンジする
- 市民にとってよりよい社会環境づくりに参画する

基本となる教師の姿勢

1. 出発点は子どもの視点
2. 自己存在感を実感できる場の設定－居場所と出番のある授業
3. 共感的理解の促進－自己と他者との関わり・自己と社会との関わり
4. 自ら判断する「自己決定の場」の設定－自己内対話の促進

第1・2学年

第3・4学年

第5・6・7学年

第8・9学年

自己指導力
規範意識の醸成

- 学級生活や学習を中心として自分自身の思いをもとに、基本的な生活習慣を身に付けたり、学習の仕方・ルール等を守ったりする。
- みんなで使うものを大切に、家や学校の約束事やきまりを守る。

守る喜び

- 学校生活や学習はもちろんのこと、集団での様々な活動を中心として、自分自身の言動を振り返りながら基本的な生活習慣を身に付けたり、学校のルール等を守ったりする。
- 学校生活を通して、解決すべき問題に気づき、問題を解決するためにルールを見直したり、つくったりする。
- 学校や社会のきまりを守り、安全で節度ある生活を送る。

気づきつくる

- 学校や地域社会における活動を中心として客観的に自他の関係を見つめたり、第三者の立場から他者のことを考えたりする中で、基本的な生活習慣を定着させたり、学校のルール等にもとづいて行動したりする。
- 公徳心をもって法や社会のきまりを守り、安全で節度ある生活を送る。

社会を意識する

- 学校や地域社会における活動を中心として自分の言動が他者や集団、社会にもたらす影響を考え、学校のルールやマナー、法律にもとづいて、正しい判断をし、行動する。
- 法や規律の意義を理解し、遵守するとともに、社会の秩序と規律を守るように努める。

社会に生かす

自己指導力(規範意識の醸成)